

1. 次の英文を和訳せよ。

Although the corporate tax revenues to GDP ratio remained relatively stable over the analysed period for most of the countries analysed, changes in the underlying drivers can be observed. Interestingly, there is no single pattern in the EU, which indicates that there still exists a large economic divergence across EU Member States.

The results of our analysis indicate that corporatization is the driving factor for the trends observed in corporate tax revenues. Without the effect of corporatization, the revenue effects relative to GDP cannot be explained by the trend in corporate tax revenues to corporate income. (中略) The decline in corporate tax revenues relative to corporate income in several countries may indicate that the impact of tax base broadening measures, in countries where such measures were introduced, might have not fully compensated for the decrease in statutory tax rates.

※注：corporatization: 法人化（個人企業が法人組織になること）

(Joanna Piotrowska and Werner Vanborren, 2008, The corporate income tax rate-revenue paradox: Evidence in the EU, *European Commission, Taxation Papers* 12, pp.22-23.)

2. ある1つの財の市場における需要曲線が

$$p=684-5y$$

ただし、 p : 価格、 y : 需要量、供給量

と表されるとする。いま、この財の市場が完全競争市場で、その供給曲線が、

$$p=7y+156$$

と表されるとする。このとき、下記の(1)~(7)について答えよ。

※注意：答案用紙には、途中の計算過程も残しておくこと（きれいに書いていなくてもよい）。正解と異なっていた場合には、計算過程の内容が重要になる。解答は、整数でなくてよいが、分数の場合はできるだけ既約分数で答えること。

(1) 完全競争市場において、この財の均衡価格と均衡需給量はそれぞれいくらかを答えよ。

(2) (1)の市場均衡において、消費者余剰はいくらかを答えよ（図示する必要はない）。

(3) (1)の市場均衡において、生産者余剰はいくらかを答えよ（図示する必要はない）。

(4) (1)の市場均衡において、需要の価格弾力性（の絶対値）はいくらかを答えよ。

(5) (1)の市場均衡において、供給の価格弾力性はいくらかを答えよ。

(6) 需要曲線は同じだが、この財を1社で独占的に供給する企業が現れたとする。この独占企業の（総）費用曲線が、

$$TC=219+36y+7y^2$$

と表されたとする。このとき、独占企業の利潤を数式で表せ。

(7) (6)で表された独占企業が利潤を最大化する供給量と独占価格はいくらかを答えよ。

3. 次のマクロ経済学に関する①～④の記述について、正しい場合は○、間違っている場合には×をつけて答えよ。また、誤っている×の記述について、その理由を簡単に答えよ。

- ① ケインズ型消費関数が成り立つ状況では、国民所得が増加すると平均消費性向は上昇する。
- ② 閉鎖経済で政府支出や投資が所得や金利と独立して決まるとき（45度線モデル）、均衡GDPの水準が、完全雇用GDP（潜在GDP）よりも6兆円少ないとき、政府支出乗数が2であると、均衡GDPを完全雇用GDPまで引き上げるには政府支出は3兆円必要である。
- ③ 公債発行による政府支出の乗数効果は、増税による均衡予算乗数よりも必ず大きくなる。
- ④ IS-LMモデルにおいて、貨幣需要の利子弾力性がゼロの場合には、金融政策が無効になり、財政政策が有効になる。

4. <この問題は、時間に余裕がある場合に限り解答してもよい；解答しないからといって減点にはしない>

次のマクロ経済学やミクロ経済学に関する(1)～(6)の問いについて答えよ。

- (1) ハイパワード・マネー（マネタリーベース）の定義を述べよ。
- (2) 国内総生産（GDP）と国民総生産（GNP）の差額は何によるものか、両者の概念的な違いを踏まえて答えよ。
- (3) 横軸に財Aの消費量（ x_A ）、縦軸に財Bの消費量（ x_B ）をとるとき、財Aが下級財（劣等財）となる状況を図示せよ。
- (4) 横軸に財Aの消費量（ x_A ）、縦軸に財Bの消費量（ x_B ）をとるとき、財Bの価格が下落した場合の代替効果と所得効果を、図を用いて説明せよ。
- (5) 上記の問2の(7)で示された独占市場均衡において、生産者余剰はいくらかを答えよ（図示する必要はない）。
- (6) 上記の問2の(1)で示された完全競争市場均衡における総余剰に比して、上記の問2の(7)で示された独占市場均衡における超過負担（死荷重）はいくらかを答えよ（図示する必要はない）。